



東風

ONE OF

『明るく伸びる子』

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

【めざす子ども像】

豊かな心で自ら学びたくましく生き抜く子

12月

笑顔咲く温かな冬休みに

令和元年12月26日発行 第11号

岩内東小学校長 齊藤 信之

新しい時代の幕開けとなった本年が、間もなく終わろうとしています。

師走の声を聞くとともにインフルエンザが流行し、一気に罹患率が高まった学年、学級を相次いで閉鎖といたしました。急なことで、保護者の皆様には大変なご迷惑をおかけしました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

学期末を迎えて気ぜわしさが募り、ついつい目先のこなさなければならぬ仕事ばかりに気を取られがちですが、私たちの仕事は、子どもたちにしっかりと目を向け、気を配ることです。途切れることのない愛情と安心の中で子どもたちを育むことが学校の使命です。一年の終わりを迎え、これまでの学校の歩みを振り返り、改めてその是非を問い直しているところです。保護者の皆様にも、今年2度目となるアンケートにご協力いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

終業式を終え、明日から冬休みに入る子どもたちは、開放感や期待感でいっぱいのことと思います。何を差し置いても、事故なく元気に過ごしてくれることを第一に願っています。そのうえで、自分のめあてをもって自主的・自律的に生活してほしいと思います。休み明けに苦労しないためにも、生活リズムを大きく狂わすことがないようにご注意ください。そのためには、学校で立てた計画を基に、改めてご家庭での約束事を確かめることも大切かと思えます。

「お腹に入る前はお空にいたの。雲の上はお風呂みたい。みんな卵の形をしていたよ。

みんなで雲の上からお母さんを探していたよ。虹色の滑り台でくるくるとお中に入ったよ。

どのお母さんにしようかなって、みんな迷っていたけど、私はすぐに決まったよ。

だって、お母さんの笑顔はとっても可愛かったから。

「胎内記憶」といって、この世に誕生する前の記憶を研究されている方がいらっしゃることを初めて知りました。にわかには信じられませんでした。話としては温かさに満ちたい話だと思いました。もしも本当に、こうして母親や父親になる人を遠くから眺めて、優しくそうだな、真面目そうだな、面白そうだなと、いろいろ考えて親として選んで生まれてきてくれたのだとしたら…と考えると「ありがとう」の気持ちでいっぱいになりませんか。

とはいうものの、子育ては怒涛のような毎日です。疲れて帰ってからの夕食の支度、食事、片付け、お風呂、洗濯、歯磨き…。やらなければならないことがたくさんあるうえに、いつも聞き分けがいいとも限りません。自分にも覚えがありますが、ついイライラしてしまうことだってあるでしょう。でも、「この子は、わたしの笑顔を優しいと感じて選んでくれた。」「微笑み合う二人を自分の親にと選んでくれた。」こんなふうに考えられたら、疲労感やイライラも、少しはやわらぐのではないのでしょうか。

家族での時間が増える冬休みです。共通の話題で一緒に笑顔になれる時間が少しでも多くなるといいですね。どの子にとっても幸せいっぱいの素敵な冬休みとなることを、そして、訪れる新年が皆さんにとって喜びに満ちたものとなりますことをご祈念申し上げます。